

2016 年 9 月 30 日
株式会社みずほ銀行

東日本大震災の被災地復興に向けた取り組みについて **～株式会社みらい造船に対するシンジケートローンの組成～**

株式会社みずほ銀行(頭取：林 信秀)は、東日本大震災による津波で被災した造船会社 4 社を中心に設立された株式会社みらい造船(代表取締役社長：木戸浦 健歓)の新造船所建設事業に対し、アレンジャーとして総額 33 億 6 千万円のシンジケートローンを本日組成しました。

宮城県気仙沼市の造船業界は、東日本大震災による津波で施設・設備が損壊し、造船所集積地の敷地が地盤沈下する等、壊滅的な被害を受けました。国内有数の水産都市である気仙沼市の復興のためには、造船業界の再生が不可欠です。気仙沼市の造船業界の経営基盤を強化し、新たな敷地に最新鋭の施設・設備を備えた造船所を建設するため、2015 年 5 月、被災した造船会社 4 社が中心となって、株式会社みらい造船が設立されました。

新造船所の建設事業の総額は約 105 億 5 千万円であり、本日組成したシンジケートローンと、国土交通省による「造船業等復興支援事業費補助金」約 70 億 3 千万円等により調達する予定です。本事業は、気仙沼市の復興に資する公共性の高い内容であることから、気仙沼市に本支店を置くすべての金融機関に当行と商工組合中央金庫を加えた 8 つの金融機関が協調し、事業計画の策定段階から協議に参加して計画の実効性を高め、組成に至りました。

新造船所は、国内で 3 カ所目となるシップリフト方式を採用します。シップリフト方式は、エレベーター方式による船舶の進水・陸揚げシステムで、従来の斜路方式に比べ移動中の船体損傷を回避できるほか、効率的な船舶の建造・修繕が可能です。また、防潮堤内に施設を建設できるため、津波被害を軽減できるメリットもあります。

当行は、自治体や他の金融機関等とも連携して、東日本大震災からの復興に向けて取り組むお客さまを、引き続き積極的にサポートしていきます。

■新造船所のイメージ図



■シンジケート・ローンの概要

契約日	2016 年 9 月 30 日
組成金額	33 億 6 千万円
アレンジャー	みずほ銀行
コ・アレンジャー	七十七銀行、東北銀行
エージェント	みずほ銀行
参加金融機関	みずほ銀行、七十七銀行、東北銀行、商工組合中央金庫、岩手銀行、北日本銀行、仙台銀行、気仙沼信用金庫
資金使途	造船所建設資金

■株式会社みらい造船の概要

代表取締役社長	木戸 浦 健 敏
本社所在地	宮城県気仙沼市浪板 245 番地
設立	2015 年 5 月 1 日
資本金	9 百万円
事業内容	船舶の建造および修理等

以 上